



辻村 ともこ

牽引式車椅子補助器具「JINRIKI」

問 人力車の原理でつくられた補助器具が、人命救助に有効だ。当市の総合防災訓練で取り入れることを要望する。

答 ご提案のとおり自動車が使えない移送想定のもと、補助器具を実際使用し、総合防災訓練の福祉避難所への移送訓練で実施。

女性活躍推進「コワーキングスペースを狛江に」

問 働きたい母親などを対象に、時間単位で活用できるスペース貸しは有効だ。調布市、世田谷区にあ

るが、当市でも検討を。

答 設置支援は専門性を補うため、金融機関等と連携した体制がないと難しいが、創業支援の一環として検討していきたい。

教科書採択

問 教科書採択で①発言し

てはならない「現場のよいように」が目立ったと思うが改正教育基本法5つの重点ポイント。②総括。

答 ①豊かな情操・健やかな身体、自律精神、正義、生命尊重、我が国と郷土愛する。②今年度事務を分析・検討、一層の体制整備



栗山 剛

災害に強いまちづくりに

問 ①災害時に安心して活動できるように消防団員に対する予防接種(破傷風)が必要だが、その予定は。

答 ①現在破傷風の消防団員に対する予防接種の予定はないが検討していく。②サイレンは防災行政無線から吹鳴する。物資、資材は準備していない。その時々、の事案により検討・対応していく。

野川の有効な利用に

問 ①「野川生き物調査会」や「野川美化清掃」の取り組みについて。②近隣自治体である調布市、世田谷区との連携した合同イベント実施について。③野川危険箇所発見時の近隣小・中学校への連絡体制について。

答 ①生き物調査会は年2回実施、野川美化清掃は年1回実施している。②流域連携を意識した施策の検討を進めていきたい。③教育委員会を初め関連団体との連携を図り、安全確保に取り組んでいく。



石井 功

人口減少と今後の狛江のまちづくり(前編)

問 ①現在の狛江市の人口は②平成21年と平成27年の人口の推移と自然動態と社会動態について③社人研の2040年の狛江の人口は約15%の減少と近隣と比べて突出した減少となっているがその分析は。

答 ①平成27年1月1日現在、7万9096人。②6年間で人口の推移は2175人、2.8%増加、自然動態は94人増加、社会動態は2081人。③平成17年から22年までの人口動態が影響と分析。

和泉多摩川緑地の都立公園化について

問 ①都市計画事業での「立退き」の定義は②過去に「都立公園」の整備で「立退き」が行われたことがあるか③東京都との交渉で市民、市役所、市議会がまとまっていることをアピールできるかが重要と考えるが。

答 ①行政による代執行を指す。②ない。③必要性や意義を伝えることが重要。各機能を配置するため、一定程度の連担した区域が必要。公有地を中心に整備。住民にも理解いただけるよう構想内容を検討。



三角 武久

地域防災力の充実強化について

問 ①消防団活動認証制度創設に向けての見解は。②女性の目線による避難所運営について。③学校防災力の向上について。

答 ①早急に進める。②避難所運営協議会役員に女性も入っている。③都教委の副読本を活用し、物の落下などから身を守る指導。

東京オリンピックを契機としての魅力発信

問 ①東京オリンピックバドミントン事前練習の誘致運動取組について②オリンピック・パラリンピック

に向けた取り組みについて

答 ①オリンピック選手への練習を直接近くで見られる機会は意義がある。②地域から機運の醸成を図り、スポーツ振興につなげる。

改正学校教育法の成立について

問 特例でしか認められていない小中一貫校制度から、改正学校教育法が可決・成立した。小中一貫校設置の可能性の検討は。

答 小中連携の日やQ・U、学校行事の際の児童・生徒による相互参観など取り組み成果を踏まえ小中一貫校の可能性について研究



谷田部 一之

愛する狛江、未来のために何が必要かパート2

問 ①多くの市民に多摩川河川敷を利用してもらうために駐車場の整備や進入禁止道路の解除は。②45周年事業を行う目的は。③シテイセルスの一つとして小田急と連携は。

答 ①関係各所と協議しながら、着実に進めたい。②市政への関心を喚起し、市民同士の顔と顔の見える関係を築き、日本一安心で安全なまちづくり、活力あるまちへと導く。③デジタルサイネージ設置に向け協議。

清水川公園上流地域の今後について

問 ①清水川公園の上流部の現状。②将来的にどのように活用するのか。③都市計画決定していくのか。④清水川公園の今後は。⑤都市施設として都市計画決定する理由は。⑥上流地域を整備する場合、手法は。

答 ①大部分が空地で、年2回の除草を実施②緑地として位置づけ③平成27年度中に決定告示を予定④区域の拡大の可能性。⑤都市計画上の制限を発生させるため⑥ワークショップ開催で意見や提案を反映。



篠 浩司

まちづくり調整会について

問 ①まちづくり条例に基づいて調整会が開催されるが、調整会に期待されることは②委員長発言が多く、他委員の意見が少ないのではないかと③条例や規則の改正について検討すべきではないかと考えるが市の考えは。

答 ①市民・事業者及び市の協働によるまちづくりを目的としている。②発言が少ないという点は、理解している。③適時適切に条例や規則等の見直しの検討は必要と認識している。

安心して安全なまちづくり推進について

問 ①多くの市民がそれぞれの立場で安心安全に寄与されていることについての所感。②今後の防犯カメラ設置について。③「東京防災」の活用について。④一の橋通り(通学路)の安全対策について。

答 ①まことに心強い限り。②市の設置分として12台、町会・自治会設置分として8台を予定。③昨年3月に全戸配布した市の防災ガイドと共に有効に活用してほしい。④できるだけことは検討していきたい。

市議会を傍聴してみませんか

本会議場の傍聴席は70席(一般席62席、報道関係者席5席、車いす席3席)となっております。

また、委員会室の傍聴席は21席となっております。満席の場合には音声のみでの傍聴となります。

会議当日、市議会事務局(3階)窓口で傍聴券に所要事項を記入していただくだけで傍聴できます。



なお、傍聴席には、聴覚障がいの方のための難聴者補助設備(磁気ループ)を設置しています。

今後の市議会の日程(予定)

平成27年第4回定例会は、おおむね以下の日程で開催されます。

- 11月24日(火) 本会議(初日)
- 12月1日(火) 本会議(一般質問)
- 12月2日(水) 本会議(一般質問)
- 12月4日(金) 本会議(一般質問)
- 12月7日(月) 本会議(一般質問)
- 12月9日(水) 総務文教常任委員会
- 12月10日(木) 社会常任委員会
- 12月11日(金) 建設環境常任委員会
- 12月17日(木) 議会運営委員会
- 12月18日(金) 本会議(最終日)

開会時間は、いずれも午前9時の予定です。また、請願・陳情の締め切りは、12月11日(金)となっております。

なお、都合により日程の変更も予想されますので、傍聴をご希望の方は事前に議会事務局までお問い合わせください。

狛江市役所・議会事務局(3階)

内線 2341・2342